別紙　　2022 年 非正規雇用労働者の働き方・意識と労働組合に関する調査
調査票・単純集計結果

QS1　あなたの性別をお答えください。（回答は１つ）

1 男性（26.2%）
2 女性（72.8%）
3 どちらともいえない／答えたくない（1.0%）

QS2　あなたの年齢をお答えください。（回答は半角数字で入力）

1 （平均 45.0）歳

QS3 現在、居住されている地域をお答えください。（回答は１つ）

1 北海道（5.8%）
2 青森（1.1%）
3 岩手（1.3%）
4 宮城（2.2%）
5 秋田（1.0%）
6 山形（0.9%）
7 福島（1.2%）
8 茨城（2.7%）
9 栃木（2.0%）
10 群馬（1.4%）
11 埼玉（6.0%）
12 千葉（5.8%）
13 東京（12.2%）
14 神奈川（7.0%）
15 新潟（2.7%）
16 富山（0.8%）
17 石川（1.0%）
18 福井（0.4%）
19 山梨（0.7%）
20 長野（1.8%）
21 岐阜（1.4%）
22 静岡（2.4%）
23 愛知（4.5%）
24 三重（1.2%）
25 滋賀（1.0%）
26 京都（2.0%）
27 大阪（6.9%）
28 兵庫（3.7%）
29 奈良（0.9%）
30 和歌山（0.8%）
31 鳥取（0.4%）
32 島根（0.5%）
33 岡山（1.6%）
34 広島（2.4%）
35 山口（1.0%）
36 徳島（0.6%）
37 香川（0.9%）
38 愛媛（1.1%）
39 高知（0.3%）
40 福岡（3.6%）
41 佐賀（0.6%）
42 長崎（0.9%）
43 熊本（1.1%）
44 大分（0.5%）
45 宮崎（0.4%）
46 鹿児島（1.0%）
47 沖縄（0.4%）

QS4　配偶者（事実婚を含む）はいますか。　（回答は１つ）

1 配偶者がおり、同居している（54.4%）
2 配偶者はいるが、別居している（2.3%）
3 配偶者はいない（43.3%）

QS5　あなたの最終学歴をお答えください。　（回答は１つ）

1 中学校卒（4.4%）
2 高校卒（41.8%）
3 専修・各種学校卒（17.0%）
4 短大・高専卒（15.4%）
5 四年制大学卒（20.6%）
6 大学院修了（0.8%）

●あなたのお仕事についてお聞きします。

QS6　あなたの現在の就業形態についてお答えください。複数の仕事に就労している方は、それらのうち主たる仕事についてお答えください。（回答は１つ）

※勤め先での一時休業や産前・産後の休暇、育児休業、介護休業などで一時的に休んでいる方は、休業・休暇前の就業形態をお答えください。

1 正社員・会社役員
2 無期転換後の労働者（「正社員」となった場合を除く）（0.8%）
3 パートタイマー・アルバイト（73.5%）
4 契約社員・準社員（16.0%）
5 派遣労働者（7.9%）
6 嘱託社員（1.8%）
7 自営業・内職
8 家業の手伝い
9 その他
10 働いていない

60 歳以上の方にお聞きします。

QS7　あなたは「正社員として定年退職」したのちに、非正規で働いていますか。（回答は１つ）

1 はい（43.4%）
2 いいえ（60 歳以前から非正規就業）（56.6%）

QS8　あなたが学校卒業又は中退後に最初に就いた仕事（初職）の就業形態をお答えください。（回答は１つ）

※学生時代のアルバイト等は除きます。

1 正社員・会社役員（60.2%）
2 パートタイマー・アルバイト（27.1%）
3 契約社員・準社員（6.5%）
4 派遣労働者（2.6%）
5 嘱託社員（0.6%）
6 自営業・内職（0.7%）
7 家業の手伝い（0.6%）
8 その他（1.7%）

QS9　あなたの勤め先の業種をお答えください。（回答は１つ）

※派遣労働者の方は、派遣先の会社等についてお答えください。

※複数の仕事に就労している方は、それらのうち主たる仕事についてお答えください。

1 建設業（1.8%）
2 製造業（10.9%）
3 電気・ガス・熱供給・水道業（0.6%）
4 情報通信業（2.8%）
5 運輸業（5.4%）
6 卸売・小売業（20.4%）
7 金融・保険業（3.0%）
8 不動産業（0.6%）
9 飲食店、宿泊業（6.8%）
10 医療、福祉（13.4%）
11 教育、学習支援業（4.1%）
12 郵便局・協同組合（1.1%）
13 サービス業（14.5%）
14 公務等
15 その他の業種（12.1%）
16 わからない（2.3%）

QS10　あなたの勤め先に労働組合がありますか。（回答は１つ）

※「勤め先」とは、派遣労働者の方は派遣元の会社を指します。

1 正社員だけが加入できる労働組合がある（10.5%）
2 正社員に加えパートタイマーや契約社員などの非正規が加入できる労働組合がある（21.1%）
3 パートタイマーや契約社員などの非正規のみが加入できる労働組合がある（2.4%）
4 労働組合はない（28.4%）
5 労働組合があるかどうかわからない（37.6%）

QS11　あなたは、労働組合に加入していますか。該当するものを選択してください。（回答はいくつでも）
※「勤め先」とは、派遣労働者の方は派遣元の会社を指します。
1 勤め先にある労働組合に加入している（17.3%）
2 勤め先以外の労働組合に加入している（2.7%）
3 現在は加入していないが、過去に加入していた（22.8%）
4 現在は加入していないし、過去にも加入したことはない（57.2%）

QS11 で「1．勤め先にある労働組合に加入している」と回答した方にお聞きします。
QS12 あなたは労働組合にどのように加入しましたか。（回答は 1 つ）回答数：433
1 自動的に加入した（79.9%）
2 自主的に加入した（13.4%）
3 わからない・覚えていない（6.7%）

以降の設問については、複数の仕事に就労している方は、それらのうち主たる仕事についてお答えください。
●あなたの就業状況や職場環境についてお聞きします。
Q1　あなたの勤め先の企業全体の従業員規模（非正規従業員を含む）をお答えください。（回答は 1 つ）
※派遣労働者の方は、派遣先の会社等についてお答えください。
1 29 人以下（18.4%）
2 30～99 人（14.3%）
3 100～999 人（19.3%）
4 1000 人以上（21.5%）
5 わからない（26.6%）

Q2　あなたの勤め先で、あなたが現在従事している主な職種をお答えください。（回答は 1 つ）
1 製造・生産工程職（11.0%）
2 建設・採掘職（0.3%）
3 輸送・機械運転職（2.3%）
4 営業・販売職（15.4%）
5 サービス職業（23.4%）
6 専門・技術的職業（8.2%）
7 管理的職業（0.8%）
8 事務職（18.2%）
9 その他（保安職など）（10.6%）
10 わからない（9.6%）

Q3　あなたの現在の勤め先での勤続年数は何年ですか。（回答は半角数字で入力）
※派遣労働者の方は、派遣先の会社等での就業期間についてお答えください。
1 （平均 7.07）年（84.0%）
2 わからない・覚えていない（16.0%）

Q4　現在、いくつの仕事に就いていますか（日雇いの仕事を除く）。（回答は 1 つ）
1 1 つ（89.9%）
2 2 つ以上（10.1%）

Q4 で「2．2 つ以上」の仕事についていると回答した方にお聞きします。
Q5　主たる仕事以外の仕事（ダブルワーク・副業の仕事）の就業形態を 2 つ以内でお答えください。（回答は 2 つまで）回答数：253
1 パートタイマー・アルバイト（82.2%）
2 派遣労働者（6.3%）
3 正社員・会社役員（1.2%）
4 契約社員・準社員（4.7%）
5 フリーランス（4.7%）
6 自営業・内職（4.3%）
7 嘱託職員（2.4%）
8 その他（4.0%）
9 不明（0.8%）

Q6　あなたの仕事の難易度は、あなたの勤め先の正社員と比較した場合に、以下のどれにあてはまると思いますか。（回答は１つ）
※職務の内容が最も近い正社員を比較対象としてください。派遣労働者の方は、派遣先の会社等の正社員と比較してください。
1 正社員と同じ内容で、同程度の仕事（26.4%）
2 正社員と同じ内容で、正社員よりも高度な仕事（2.5%）
3 正社員と同じ内容で、正社員よりも軽易な仕事（28.2%）
4 正社員とは異なる仕事（25.6%）
5 勤め先に正社員はいない（6.0%）
6 わからない（11.4%）

Q6 で「１．正社員と同じ内容で、同程度の仕事」「２．正社員と同じ内容で、正社員よりも高度な仕事」「３．正社員と同じ内容で、正社員よりも軽易な仕事」と回答した方にお聞きします。
Q7　あなたの賃金水準は、職務の内容等がほぼ同じ正社員と比較した場合に、以下のどれにあてはまると思いますか。（回答は１つ）回答数：1426
1 賃金水準は低くかなりの格差がある（36.0%）
2 賃金格差はあるが許容できる程度である（36.6%）
3 賃金水準はほぼ同等以上である（8.3%）
4 わからない（19.1%）

Q8　あなたの現在の雇用契約期間についてお答えください。（回答は１つ）
1 1 か月未満（0.6%）
2 1 か月以上 3 か月以下(5.0%)
3 3 か月超 6 か月以下（6.0%）
4 6 か月超 1 年以下（15.1%）
5 1 年超 3 年以下（11.3%）
6 3 年超 5 年以下（4.6%）
7 5 年超（6.0%）
8 期間の定めはない（39.2%）
9 わからない（12.1%）

Q8 で雇用契約に期間の定めがあると回答した方にお聞きします。
Q9　現在の勤め先での契約更新の回数をお答えください。（回答は１つ）回答数：1217
1 0 回(更新していない)(13.9%)
2 1 回（11.3%）
3 2 回（11.6%）
4 3 回（9.1%）
5 4 回（7.1%）
6 5～9 回（13.7%）
7 10 回以上（17.4%）
8 わからない・覚えていない（15.8%）

Q10　あなたの 1 時間あたりの賃金（時給）額はいくらですか。月給や日給の方は、1 時間あたりの賃金額に計算してお答えください。（回答は半角数字で入力）
1 （平均 1,141）円（81.2%）
2 時給はわからない（18.8%）

Q11A 主たる仕事の 11 月の 1 週間あたりの実労働時間（残業を含む）はどのくらいでしたか。（回答は１つ）
1 20 時間未満（30.5%）
2 20 時間以上、30 時間未満（23.0%）
3 30 時間以上、35 時間未満（10.1%）
4 35 時間以上、40 時間未満（15.4%）
5 40 時間以上、45 時間未満（13.1%）
6 45 時間以上、50 時間未満（3.1%）
7 50 時間以上、60 時間未満（1.8%）
8 60 時間以上（3.1%）

Q4 で「２．２つ以上」の仕事についていると回答した方にお聞きします。

Q11B　ダブルワーク・副業等を含む仕事全体の、11 月の 1 週間あたりの実労働時間(残業含む)はどれくらいでしたか。（回答は 1 つ）回答数：253

1 20 時間未満（22.9%）
2 20 時間以上、30 時間未満（22.5%）
3 30 時間以上、35 時間未満（10.7%）
4 35 時間以上、40 時間未満（13.0%）
5 40 時間以上、45 時間未満（7.9%）
6 45 時間以上、50 時間未満（5.9%）
7 50 時間以上、60 時間未満（7.1%）
8 60 時間以上（9.9%）

Q12　あなたは現在の仕事について、どのような不満や不安がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）

1 解雇・雇止めがある（5.4%）
2 賃金が低い（36.7%）
3 ボーナス（賞与）がない・少ない（40.7%）
4 労働時間帯が希望にあわない（5.4%）
5 残業が多い・休日出勤が多い（3.6%）
6 有給休暇が取りにくい（12.3%）
7 働く時間が短い（7.9%）
8 社会保険に加入できない（4.8%）
9 仕事がきつい（12.0%）
10 職場の人間関係が悪い（13.0%）
11 職業能力が向上しない仕事である（6.7%）
12 仕事の経験を積んでも賃金が増えない（25.3%）
13 教育訓練の機会が乏しい（6.8%）
14 正社員になれない（11.1%）
15 セクハラ・パワハラやいじめがある（6.0%）
16 仕事のない期間がある（5.8%）
17 産休・育休・介休を取得しにくい（1.9%）
18 非正規という理由で差別されている（3.9%）
19 その他（6.6%）
20 不満や不安はない（23.6%）

Q13　あなたは、現在の勤め先で非正規労働者であることを理由に、以下のようなハラスメントや差別などを受けたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）

1 雇用契約の延長や労働条件をよくするからと言われ、セクハラを受けた（0.4%）
2 雇用契約の延長や労働条件をよくするからと言われ、過度な仕事を押し付けられた（1.3%）
3 雇止めや解雇に追い込むために侮辱・ひどい暴言などの精神的な攻撃を受けた（2.4%）
4 仲間外しや無視などを受けた（4.9%）
5 クレーム対応など正社員が嫌な仕事を押し付けられた（4.1%）
6 顧客などから叱責された（5.6%）
7 休みたくても、休ませてもらえなかった（6.4%）
8 その他　具体的に：(　　)（3.0%）
9 ハラスメント・差別を受けたことはない（63.6%）
10 答えたくない（17.2%）

Q14　以下の A～J の女性がおかれている状況について、あなたはどのように思いますか。（回答は 1 つずつ）

	1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらともいえない	4 ややそう思わない	5 そう思わない
A. 女性は収入が低い	（15.3%）	（32.5%）	（36.3%）	（9.0%）	（6.9%）
B. 女性は手当などの賃金保障が小さい	（12.7%）	（28.3%）	（41.0%）	（10.4%）	（7.6%）
C. 女性は短い労働時間しか働けない	（6.9%）	（19.4%）	（44.2%）	（16.6%）	（12.8%）
D. 女性は休業や労働時間短縮の対象になりやすい	（10.6%）	（27.6%）	（41.2%）	（11.8%）	（8.8%）
E. 女性は解雇・雇止めにあいやすい	（9.5%）	（23.1%）	（44.8%）	（12.8%）	（9.8%）
F. 女性はハラスメントの被害を受けやすい	（17.3%）	（39.8%）	（31.2%）	（6.5%）	（5.1%）
G. 女性は仕事を続けにくい	（14.3%）	（36.2%）	（34.9%）	（8.5%）	（6.1%）
H. 女性は正社員で再就職しにくい	（18.2%）	（33.8%）	（34.4%）	（7.6%）	（6.1%）
I. 女性は家事・育児・介護などの家族責任が大きい	（36.6%）	（36.2%）	（21.5%）	（3.2%）	（2.5%）
J. 女性は貧困になりやすい	（17.5%）	（29.4%）	（40.2%）	（7.3%）	（5.5%）

●公的年金や社会保険の加入状況についてお聞きします。

Q15　あなたが加入している公的年金をお答えください。（回答は 1 つ）

1 あなた自身の厚生年金に加入している（41.0%）
2 国民年金に加入し、保険料を払っている（14.2%）
3 国民年金に加入し、保険料を払っているが、保険料の未納期間がある（3.0%）
4 国民年金に加入しているが、保険料は免除もしくは払っていない（4.5%）
5 あなたの配偶者が勤務先で加入する年金の被扶養者になっている（国民年金第 3 号被保険者）（23.1%）
6 公的年金に加入していない（3.7%）
7 わからない（10.6%）

Q16　2016 年 10 月以降、あなたの社会保険への加入状況には変化がありましたか。（回答は 1 つ）

1 社会保険の適用拡大により、2016 年 10 月頃から厚生年金に加入した（4.2%）
2 社会保険の適用拡大により、2022 年 10 月頃から厚生年金に加入した（2.4%）
3 上記の時期以外で、厚生年金に加入した（16.7%）
4 変化はない（55.7%）
5 わからない（21.0%）

Q16 で「1．社会保険の適用拡大により、2016 年 10 月頃から厚生年金に加入した」「2．社会保険の適用拡大により、2022 年 10 月頃から厚生年金に加入した」と回答した方にお聞きします。

Q17　厚生年金加入直前に加入していた年金制度は以下のどれにあてはまりますか。（回答は 1 つ）回答数：163

1 国民年金に加入し、保険料を払っていた（45.4%）
2 国民年金に加入していたが、保険料の未納期間があった（14.1%）
3 国民年金に加入していたが、保険料は免除もしくは払っていなかった（8.0%）
4 以前は配偶者が勤め先で加入する年金の被扶養者になっていた（第 3 号被保険者）（23.3%）
5 わからない（9.2%）

Q16 で「1．社会保険の適用拡大により、2016 年 10 月頃から厚生年金に加入した」「2．社会保険の適用拡大により、2022 年 10 月頃から厚生年金に加入した」と回答した方にお聞きします。

Q18　2016 年 10 月及び 2022 年 10 月から厚生年金の加入対象者が拡大されました。それにより、あなたは、労働時間を調整しましたか。（回答は 1 つ）回答数：114

1 労働時間は変わっていない（58.8%）
2 会社から労働時間を短くすると言われ、快諾した（2.6%）
3 会社から労働時間を短くすると言われ、仕方なく応じた（2.6%）
4 自分から労働時間を短くするように伝えた（3.5%）
5 会社から労働時間を長くすると言われ、快諾した（7.0%）
6 会社から労働時間を長くすると言われ、仕方なく応じた（1.8%）
7 自分から労働時間を長くするように伝えた（19.3%）
8 その他（4.4%）

QS11 で「1．勤め先の労働組合に加入している」と回答した方にお聞きします。

Q19　あなたは、年金や医療保険制度の対象となるパートタイマーやアルバイトの範囲が拡大された際、勤め先の労働組合から情報提供や支援を受けましたか。（回答は 1 つ）回答数：433

1 情報提供や支援を受けた（24.2%）
2 情報提供や支援を受けられなかったので、自分で調べた（8.5%）
3 適用拡大の対象ではなかった（26.1%）
4 適用拡大の対象であることを知らなかった（41.1%）

Q20　あなたはどのような社会保険制度が望ましいと思いますか。あてはまるものを 5 つまで選んでください。（回答は 5 つまで）

1 コロナ禍などで仕事を休んでも生活に困らない（53.3%）
2 扶養されるかどうかで区別されない医療や年金（26.0%）
3 短時間労働やダブルワークなどでも失業したら保障を受けられる（26.4%）
4 フリーランスが失業した時に保障を受けられる（11.3%）
5 フリーランスが仕事による事故で保障を受けられる（8.9%）
6 ダブルワークによる仕事の収入総額に対して年金がもらえる（13.4%）
7 所得にかかわらず、年金の最低額が保障される（41.2%）
8 育児・介護で休むすべての人が所得を保障される（26.4%）
9 子どもの病気で休んでも賃金が保障される（21.4%）
10 勤め先や労働時間が変わっても不利にならない（34.7%）
11 わからない・答えられない（20.3%）

●新型コロナウイルス感染症拡大による仕事への影響についてお聞きします。

Q21　現在、2020 年 2 月時点と同じ勤め先で働いていますか。（回答は 1 つ）

※派遣労働者の方は、派遣元の会社等についてお答えください。

1 2020 年 2 月時点と同じ勤め先で働いている（72.4%）

2 2020 年 2 月時点とは勤め先が変わった（19.0%）

3 2020 年 2 月時点は働いていなかった（8.5%）

Q21 で「1．2020 年 2 月時点と同じ勤め先で働いている」または「2．2020 年 2 月時点とは勤め先が変わった」と回答した方にお聞きします。

Q22　あなたの現在の働き方は、2020 年 2 月以前と比較して変化していますか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）回答数：2287

1 正社員から非正規の仕事に変わった（6.2%）

2 勤務場所が変わった（17.9%）

3 仕事の内容が変わった（17.2%）

4 働く時間が減少した（16.4%）

5 働く時間が増加した（10.1%）

6 月の収入が減少した（19.1%）

7 月の収入が増加した（9.7%）

8 その他（2.2%）

9 特に変化はない（51.6%）

Q21 で「2．2020 年 2 月時点とは勤め先が変わった」と回答した方にお聞きします。

Q23　2020 年 2 月時点とは勤め先が変わった理由は何ですか。以下の中から、主なものを 1 つ選んでください。（回答は 1 つ）回答数 476

1 正社員で勤めていた会社が倒産、または、事業所が閉鎖したから（2.7%）

2 非正規で勤めていた会社が倒産、または、事業所が閉鎖したから（6.5%）

3 収入が減少したから（4.8%）

4 育児や介護との両立ができなくなったから（4.4%）

5 条件の良い職場が見つかったから（17.9%）

6 家族の転勤などにより転居したから（5.9%）

7 新型コロナウイルス感染症への不安があったから（2.9%）

8 その他（43.5%）

9 答えたくない（11.3%）

Q24　あなたは、「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」を受給しましたか。（回答は 1 つ）

1 休業していない（66.7%）

2 休業したため、会社が申請した（9.1%）

3 休業したため、自分で申請した（3.4%）

4 休業したが、受給しなかった（6.8%）

5 わからない（14.1%）

Q25　まん延防止措置などの新型コロナウイルスの感染拡大の予防の措置がとられた時に、生活面での精神的なストレスや不満は増えましたか。（回答は 1 つ）

1 増えた（49.4%）　2 変わらない（48.2%）　3 減った（2.4%）

Q25 で生活面での精神的なストレスや不満が「増えた」と回答した方にお聞きします。
Q26 精神的なストレスや不満が増えたのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）回答数：1236
1 友人や知人との付き合いや交流が減ったため（53.9%）
2 家族の世話をする時間や負担が増えたため（21.0%）
3 自分が自宅で勉強や仕事をする時間が増えたため（4.6%）
4 家族が自宅で勉強や仕事をする時間が増えたため（7.6%）
5 自分の健康状態が不安定になったため（27.9%）
6 家族の健康状態が不安定になったため（17.5%）
7 家族の人間関係が悪くなったため（6.0%）
8 遠方に住む家族に会えなくなったため（25.6%）
9 外出の機会が減ったため（60.1%）
10 感染拡大が収束する見通しが立たないため（63.8%）
11 その他（11.8%）

●非正規労働に関するルールについてお聞きします。
Q27 あなたは、パート・有期雇用労働法（2020 年 4 月施行）が定める「同一労働同一賃金」のルールを知っていますか。（回答は 1 つ）
1 知っている（8.9%）
2 ある程度知っている（22.6%）
3 あまり知らない（38.4%）
4 知らない・はじめて聞いた（30.1%）

Q27 で「知っている」「ある程度知っている」と回答した方にお聞きします。
Q28 「同一労働同一賃金」のルールをどのように知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）回答数：786
1 会社から説明を受けた（16.4%）
2 労働組合から説明を受けた（7.1%）
3 新聞やテレビなどの報道で知った（61.2%）
4 自分で調べた（22.5%）
5 その他（7.1%）

Q29 法改正または「同一労働同一賃金」のルールによって、労働条件が改善されたものをすべて選んでください。2020 年 3 月以前に現在の勤め先で仕事をしていなかった方は、「勤め先が変わっているため比較できない」を選んでください。（回答はいくつでも）
※派遣労働者の方は、派遣元の会社等についてお答えください。
1 基本給が上がった（12.3%）
2 ボーナス（賞与）が支給されるようになった（3.0%）
3 病気休職が有給で保障されるようになった（2.2%）
4 通勤手当が支給されるようになった、または支給額が上がった（3.1%）
5 年末年始などに勤務した場合に特別手当がつくようになった（1.9%）
6 退職金が支給されるようになった（0.7%）
7 教育訓練の機会が増えた（1.2%）
8 労働条件について説明が行われたり、質問しやすくなった（1.7%）
9 その他（1.8%）
10 特に変化はない（59.7%）
11 勤め先が変わっているため比較できない（19.9%）

Q8 で雇用期間に期間の定めがあると回答した方にお聞きします。

Q30　有期契約の通算の契約期間が 5 年を超えた場合、希望すれば無期契約（期間の定めのない労働契約）に転換することができますが、あなたの通算の契約期間が 5 年を超えた場合、無期契約に転換することを希望しますか。すでに通算の契約期間が 5 年を超えている方は、現在の希望をお答えください。（回答は 1 つ）回答数：1217

1 希望する（53.7%）
2 希望しない（46.3%）

Q30 で「1．希望する」と回答した方にお聞きします。

Q31　無期契約への転換を希望する理由について、あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）回答数：653

1 安定して働きたいから（84.1%）
2 労働条件がよくなると思うから（18.8%）
3 今の勤め先でキャリアを積み重ねていきたいから（14.2%）
4 今の仕事にやりがいを感じているから（20.8%）
5 積極的に仕事ができると思うから（10.7%）
6 責任のある仕事がしたいから（8.1%）
7 その他（7.7%）

Q32　あなたは、正社員になりたいですか。（回答は 1 つ）

1 今の勤め先で正社員になりたい（11.1%）
2 転職して正社員になりたい（14.3%）
3 正社員にはなりたくない（43.0%）
4 わからない（31.6%）

Q30 で無期契約への転換を「2．希望しない」、または Q32 で「3．正社員にはなりたくない」と回答した方にお聞きします。

Q33　A．無期契約への転換を希望しない理由、B．正社員になりたくない理由のそれぞれについて、あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）

(1)A．無期転換を希望しない理由　回答数：564

1 賃金があがらないから（18.6%）
2 責任が重くなるから（31.0%）
3 残業が多くなるから（14.4%）
4 家事や育児・介護の時間が必要だから（15.8%）
5 就業調整をしたいから（13.1%）
6 通勤時間が長くなるのが嫌だから（8.9%）
7 労働時間・労働日を選んで働きたいから（24.5%）
8 転勤があるから（6.6%）
9 制度があっても働き方を変えられないから（11.9%）
10 今の働き方に不満はないから（28.4%）
11 あてはまるものはない（20.9%）

(2)B．正社員になりたくない理由　回答数：1076

1 賃金があがらないから（7.5%）
2 責任が重くなるから（46.1%）
3 残業が多くなるから（25.6%）
4 家事や育児・介護の時間が必要だから（27.9%）
5 就業調整をしたいから（12.8%）
6 通勤時間が長くなるのが嫌だから（11.6%）
7 労働時間・労働日を選んで働きたいから（35.4%）
8 転勤があるから（13.1%）
9 制度があっても働き方を変えられないから（7.1%）
10 今の働き方に不満はないから（37.4%）
11 あてはまるものはない（5.5%）

Q34　あなたは、どのような内容の労働法が必要だと思いますか。あてはまるものを 7 つまで選んでください。（回答は 7 つまで）

1 労働の契約はすべて期限のない契約にする（21.0%）
2 1～2 年たてば正社員への転換を申し込める（21.1%）
3 5 年たてば自動的に正社員になれる（16.0%）
4 契約更新の制限をされずに有期契約のままずっと働くことができる（17.9%）
5 自分の希望するタイミングでフルタイムとパートタイムを行き来できる（30.1%）
6 1 か月あたりの最低限の労働時間が保障される（26.2%）
7 非正社員の代表者と使用者が話し合う機会が必ずある（9.2%）
8 社内で第三者の立場の人にハラスメントの相談ができる（11.4%）
9 正社員と同じ日数の有給休暇がもらえる（29.9%）
10 賃金額が適正かどうかを社外の第三者が審査できる（18.8%）
11 産前産後で休む間も賃金が支払われる（15.4%）
12 育児や介護で休む間も賃金が払われる（23.5%）
13 管理職へ昇進する機会が必ず与えられる（3.6%）
14 派遣先に応募して優先的に採用される（3.2%）
15 派遣先で同じ仕事をする正社員の賃金額を知ることができる（7.5%）
16 わからない・答えられない（24.4%）

●労働組合についてお聞きします。

Q35～Q37 は、労働組合に加入している人にお聞きします。

Q35　あなたは、組合活動を何によって知りますか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）回答数：500

1 組合の掲示物（新聞・ポスターなど）（28.2%）
2 組合の配布物（広報誌・チラシ・ビラなど）（47.0%）
3 組合からのメール（12.8%）
4 組合のホームページ、SNS（10.8%）
5 組合役員（執行委員、中央委員、代議員など）（8.4%）
6 職場の上司・同僚（15.0%）
7 その他　具体的に：（　　）（0.2%）
8 活動を知ることはない（28.6%）

Q36　あなたは、組合の会議やイベントなど組合の活動（オンラインを含む）にどの程度参加していますか。（回答は 1 つ）回答数：500

1 いつも参加している（3.6%）
2 たまに参加している（11.8%）
3 めったに参加しない（22.2%）
4 まったく参加しない（62.4%）

Q37　あなたは労働組合に加入していることにどのようなメリットを感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）回答数：500

1 経験に応じて時給を引き上げられるようになった（9.0%）
2 通勤手当やボーナス（賞与）が支給されるようになった（8.6%）
3 職場の組合員との仲間意識ができた（7.0%）
4 意見や要望を伝えることができる（11.8%）
5 困った時に相談できる人がいる（12.0%）
6 組合や職場のレク活動に参加できるようになった（6.0%）
7 職場の情報が入るようになった（9.0%）
8 共済制度に加入できた（8.2%）
9 福利厚生施設が利用できるようになった（13.4%）
10 労働条件の引き下げなど、いざというときに頼りになる（6.6%）
11 雇用契約の打ち切りの際に頼りになる（5.2%）
12 ハラスメントを受けた際に相談できる（6.6%）
13 その他　具体的に：（　　）（1.4%）
14 特にメリットを感じることはない（57.0%）

以下、全員にお聞きします。

Q38　あなたは「労働組合」にどのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）

1 自分たちの労働条件改善・向上に欠かせない（21.0%）
2 賃上げや男女平等など現在の課題にこたえていない（10.8%）
3 働いている人の味方（26.0%）
4 職場の悩みを相談できる（13.1%）
5 いざというときに頼れる（12.0%）
6 頼りないとは思うが一応必要（19.0%）
7 どのような活動をしているかわかりづらい（22.8%）
8 身近に感じられない（20.3%）
9 古臭い感じがする（11.7%）
10 会社サイドの立場で行動している（9.3%）
11 一部の人のもので、自分には関係がない（11.4%）
12 正社員のことしか考えていない（12.9%）
13 今の生活には必要がない（6.6%）
14 できることなら関わりを持ちたくない（4.9%）
15 特にあてはまるイメージはない（28.2%）

Q39　労働組合が賃金を上げるとしたら、どのような賃上げが望ましいと思いますか。（回答は 1 つ）

1 正社員の賃金も非正規の賃金も上げる（77.6%）
2 正社員の賃金を上げて、非正規の賃金は今のまま（1.8%）
3 正社員の賃金を上げて、非正規の賃金を下げる（1.2%）
4 非正規の賃金を上げて、正社員の賃金は今のまま（13.8%）
5 非正規の賃金を上げて、正社員の賃金を下げる（5.6%）

Q40　非正規労働者の労働条件や職場環境の改善のために、労働組合はどのような取り組みを行うべきだと思いますか。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）

1 賃金・ボーナス（賞与）の改善（74.6%）
2 退職金の支給（42.5%）
3 労働時間・休日・休暇の改善・充実（42.3%）
4 雇用の維持（38.0%）
5 正社員・無期契約社員への転換（23.1%）
6 教育訓練の整備（14.0%）
7 職場の安全衛生の確保（20.3%）
8 セクハラ・パワハラなどハラスメント対策（31.3%）
9 男女の均等待遇の確保（19.8%）
10 育児休業・介護休業・看護休暇制度の充実（27.5%）
11 企業行動の監視、経営者へのチェック（14.1%）
12 福利厚生の充実（34.6%）
13 メンタルヘルス対策の充実（22.4%）
14 従業員の親睦を深める活動（レクリエーション活動・親睦会）（6.0%）
15 国や地方行政への政策要求活動（法律・行政のルールづくり）（7.3%）
16 その他（7.8%）

Q41　あなたは、以下のようなことが起きた場合、誰に相談しますか。A～F のそれぞれについて、あなたが相談する人や窓口をすべて選んでください。（回答はいくつでも）

(1)A. 急な雇用の打ち切り（離職）が決まった時

1 家族（65.1%）
2 友人・知人（24.1%）
3 職場の同僚（16.4%）
4 職場の上司（11.4%）
5 会社の相談窓口（6.0%）
6 労働組合の相談窓口（6.3%）
7 行政の相談窓口（11.8%）
8 NPO の相談窓口（2.7%）
9 その他（2.8%）
10 相談はしない（9.8%）
11 わからない（13.4%）

(2)B. 残業代が支払われない時

1 家族（34.0%）
2 友人・知人（13.2%）
3 職場の同僚（19.7%）
4 職場の上司（29.4%）
5 会社の相談窓口（16.3%）
6 労働組合の相談窓口（12.4%）
7 行政の相談窓口（18.7%）
8 NPO の相談窓口（3.7%）
9 その他（2.8%）
10 相談はしない（5.6%）
11 わからない（14.7%）

(3)C. 希望通りに有給休暇が取れない時

1 家族（29.2%）
2 友人・知人（12.4%）
3 職場の同僚（20.8%）
4 職場の上司（29.1%）
5 会社の相談窓口（14.4%）
6 労働組合の相談窓口（8.4%）
7 行政の相談窓口（9.8%）
8 NPO の相談窓口（2.6%）
9 その他（2.1%）
10 相談はしない（10.9%）
11 わからない（15.2%）

(4)D. 社会保険の加入資格があるのに加入できない時

1 家族（23.6%）
2 友人・知人（8.4%）
3 職場の同僚（13.6%）
4 職場の上司（25.2%）
5 会社の相談窓口（19.4%）
6 労働組合の相談窓口（11.8%）
7 行政の相談窓口（19.1%）
8 NPO の相談窓口（3.8%）
9 その他（2.2%）
10 相談はしない（7.5%）
11 わからない（21.5%）

(5)E. 仕事や職場で健康や安全に不安を感じた時

1 家族（43.6%）
2 友人・知人（20.1%）
3 職場の同僚（26.9%）
4 職場の上司（32.0%）
5 会社の相談窓口（13.0%）
6 労働組合の相談窓口（7.4%）
7 行政の相談窓口（8.5%）
8 NPO の相談窓口（2.9%）
9 その他（2.4%）
10 相談はしない（6.9%）
11 わからない（13.8%）

(6)F. 職場でハラスメントにあった時

1 家族（36.2%）
2 友人・知人（19.2%）
3 職場の同僚（24.1%）
4 職場の上司（25.1%）
5 会社の相談窓口（23.0%）
6 労働組合の相談窓口（10.4%）
7 行政の相談窓口（14.7%）
8 NPO の相談窓口（5.0%）
9 その他（3.0%）
10 相談はしない（5.6%）
11 わからない（14.5%）

QS11 で「１．勤め先にある労働組合に加入している」「２．勤め先以外の労働組合に加入している」と回答した方にお聞きします。

Q42　あなたは、今後も組合に加入していたいですか。（回答は１つ）回答数：500

1 このまま加入していたい（42.6%）
2 できれば、やめたい（11.4%）
3 どちらともいえない（33.6%）
4 わからない（12.4%）

QS11 で「３．現在は加入していないが、過去に加入していた」「４．現在は加入していないし、過去にも加入したことはない」と回答した方にお聞きします。

Q43　あなたは、労働組合に加入したいと思いますか。（回答は１つ）回答数：2000

1 加入したい（または加入予定がある）（3.8%）
2 すすめられたら、加入してもよい（23.1%）
3 加入したくない（17.6%）
4 わからない（55.6%）

Q42 で「２．できれば、やめたい」、または Q43 で「３．加入したくない」と回答した方にお聞きします。

Q44　あなたが、今加入している労働組合を、できればやめたい、または労働組合に加入したくない主な理由を１つ選んでください。（回答は１つ）回答数：409

1 自分の労働条件の改善に役立つとは思えないから（19.8%）
2 組合の力が弱く、事業主に対する交渉力が乏しいから（3.9%）
3 組合費を負担する余裕がないから（12.7%）
4 時間がないから（6.4%）
5 気持ちの余裕がないから（5.1%）
6 組合の考え方や行動に共感できないから（5.4%）
7 どういう活動をしているかわからないから（20.3%）
8 組合費が適正に使われているか判断できないから（12.2%）
9 その他（14.2%）

●暮らしと家計の状況についてお聞きします。

Q45　あなたが生計を同一にしている家族をすべてお答えください。（回答はいくつでも）

1 配偶者（事実婚を含む）（54.4%）
2 子ども（33.1%）
3 親（27.6%）
4 孫（0.7%）
5 祖父母（1.9%）
6 兄弟姉妹（9.0%）
7 その他（1.3%）
8 あなた以外にいない（17.0%）

Q45 で同一生計に「２．子ども」がいると回答した方にお聞きします。

Q46　現在、生計を同一にしている末子（一番年下のお子さん）の現在の年齢をお答えください。（回答は半角数字で入力）回答数：828

1 （平均 15.9）歳

Q47　現在、生計を同一にしている家族のなかに、介護が必要な方はいますか。（回答は１つ）

1 いる（7.7%）
2 いない（92.3%）

Q48　あなたご自身の過去 1 年間のおおよその賃金での年収（税込み）をお答えください。（回答は 1 つ）

1 ない（0.5%）
2 100 万円未満（23.4%）
3 100～200 万円未満（30.8%）
4 200～300 万円未満（15.0%）
5 300～400 万円未満（5.2%）
6 400～500 万円未満（1.7%）
7 500～600 万円未満（0.8%）
8 600～700 万円未満（0.2%）
9 700～800 万円未満（0.3%）
10 800～900 万円未満（0.1%）
11 900～1000 万円未満（0.0%）
12 1000～1200 万円未満（0.1%）
13 1200～1500 万円未満（0.0%）
14 1500～2000 万円未満
15 2000 万円以上（0.0%）
16 答えたくない（21.8%）

Q49　あなたが働いて得る賃金収入は、あなたの世帯収入の中でどの程度を占めていますか。（回答は 1 つ）

1 世帯収入のすべて（16.0%）
2 世帯収入の大部分（5.9%）
3 世帯収入の半分以上（8.1%）
4 世帯収入の半分を下回る（49.5%）
5 わからない（20.5%）

Q49 で「あなたの賃金収入以外に世帯収入がある」（Q49＝2-4）と回答した方にお聞きします。

Q50　現在、あなた以外で賃金収入を得ている方は、どなたですか。あてはまる方をすべて選んでください。（回答はいくつでも）回答数：1587

1 あなたの配偶者（事実婚を含む）（70.3%）
2 あなたの親（21.7%）
3 あなたの子ども（11.3%）
4 その他（10.0%）

Q50 で「１．あなたの配偶者（事実婚を含む)」または、「２．あなたの親」と回答した方にお聞きします。

Q51　A あなたの配偶者、B あなたの親（両親の場合、収入の多い方）の就業形態をそれぞれ選んでください。(回答は１つずつ)

(1)A. 配偶者の就業形態　回答数：1115

1 正社員・会社役員（69.8%）
2 パートタイマー・アルバイト（10.6%）
3 契約社員・準社員（5.3%）
4 派遣労働者（1.6%）
5 嘱託社員（1.1%）
6 自営業・内職（6.9%）
7 家事手伝い（0.3%）
8 その他（4.5%）

(2)B. 親の就業形態　回答数：345

1 正社員・会社役員（30.7%）
2 パートタイマー・アルバイト（26.1%）
3 契約社員・準社員（5.2%）
4 派遣労働者（1.2%）
5 嘱託社員（2.3%）
6 自営業・内職（9.3%）
7 家事手伝い（3.5%）
8 その他（21.7%）

Q52　あなたの世帯全体（配偶者等の収入を含む）の過去１年間のおおよその年収（税込み）をお答えください。(回答は１つ)

※退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金、資産収入は含めて下さい。

1 100 万円未満（5.3%）
2 100～200 万円未満(10.9%)
3 200～300 万円未満(10.9%)
4 300～400 万円未満（7.4%）
5 400～500 万円未満（7.2%）
6 500～600 万円未満（7.5%）
7 600～700 万円未満（4.7%）
8 700～800 万円未満（4.0%）
9 800～900 万円未満（2.7%）
10 900～1000 万円未満(2.0%)
11 1000～1200 万円未満(1.4%)
12 1200～1500 万円未満(0.6%)
13 1500～2000 万円未満(0.2%)
14 2000 万円以上（0.4%）
15 わからない・答えたくない（34.7%）

Q53　現在、あなたの世帯における蓄え（預金や有価証券などの合計）はおおよそどれくらいですか。（回答は１つ）

1 ない（12.8%）
2 100 万円未満（9.6%）
3 100～200 万円未満（5.0%）
4 200～300 万円未満（2.9%）
5 300～400 万円未満（2.0%）
6 400～500 万円未満（2.0%）
7 500～1000 万円未満(4.4%)
8 1000～2000 万円未満(3.5%)
9 2000 万円以上（4.8%）
10 わからない・答えたくない（53.0%）

Q54　過去１年間のあなたの世帯全体の年間収支は以下のどれにあてはまりますか。(回答は１つ)

1 かなり黒字（収入が支出をかなり上回る状況）(2.8%)
2 やや黒字（収入が支出をやや上回る状況）(11.9%)
3 収支トントン（収支が釣り合っている状況）(20.4%)
4 やや赤字（支出が収入をやや上回る状況）(18.9%)
5 かなり赤字（支出が収入をかなり上回る状況）(14.2%)
6 わからない・答えたくない（31.8%）

Q55　あなたは、この１年間に、家計に関して以下のようなことをしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）

1 食費や外食回数を減らした（39.3%）
2 電気・ガス・水道料金や、電話代など通信費を減らした（20.6%）
3 医療機関への受診を控えるなどして医療費を減らした（10.0%）
4 衣服や靴の購入を控えた（42.7%）
5 電化製品、家具、自動車など耐久消費財の購入や買替えを控えた（15.6%）
6 子どもの教育費や仕送りを減らした（1.2%）
7 趣味やレジャーの出費を減らした（29.6%）
8 酒やたばこなどの出費を減らした（8.0%）
9 自分や家族の交際費を減らした（14.7%）
10 自分や家族の小遣いを減らした（8.7%）
11 生命保険の掛金を減らした（5.2%）
12 預貯金を取り崩した（15.2%）
13 住宅や車のローン以外の借金をした（2.9%）
14 自分や家族がパート・アルバイト、副業等を始めた（5.6%）
15 持家計画の見直しや、住宅ローン返済方法の変更を行った（0.9%）
16 その他　具体的に：（　　）（0.4%）
17 何もしていない（31.1%）

Q56　現在、あなたが受給、または、利用している制度をすべて選んで下さい。（回答はいくつでも）

1 児童扶養手当（9.6%）
2 保育所、幼稚園、認定こども園の利用料などの減額・免除（2.8%）
3 就学援助制度（2.8%）
4 奨学金制度（2.7%）
5 社会保険料の減免（2.2%）
6 生活保護制度（0.8%）
7 社会福祉協議会の貸付（1.0%）
8 住居確保給付金（0.4%）
9 医療機関にかかるための制度（無料低額診療事業、窓口負担金の免除など）（4.0%）
10 その他（1.9%）
11 受給、利用している制度はない（65.9%）
12 答えたくない（14.6%）

Q57　家族や子どもに関するA～Eの考え方について、あなたはどのように思いますか。（回答は１つずつ）

	1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらともいえない	4 ややそう思わない	5 そう思わない
A. 結婚後は、夫は外で働き、妻は主婦業に専念すべきだ	（1.5%）	（5.9%）	（37.2%）	（22.2%）	（33.2%）
B. 家庭で重要なことがあった時は父親が最終的に決定すべきだ	（3.0%）	（11.7%）	（42.5%）	（17.2%）	（25.6%）
C. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだ	（2.5%）	（11.4%）	（40.8%）	（17.2%）	（28.1%）
D. 夫も家事や育児を平等に分担すべきだ	（27.0%）	（35.8%）	（29.1%）	（4.8%）	（3.4%）
E. 年老いた親の介護は家族が担うべきだ	（6.2%）	（20.1%）	（49.3%）	（13.4%）	（11.0%）

Q58　あなたの家庭の家事・育児・介護の分担状況について、全体が 100％になるようにお答えください。家事・育児分担をしていない人や該当者がいない場合は「0」％と回答してください。
（回答は半角数字で入力）

1 A．あなた　（平均 64.4）％
2 B．配偶者（平均 14.7）％
3 C．子ども（平均 2.6）％
4 D．親、その他（平均 18.3）％

Q59　家事・育児・介護はあなたの現在の働き方に影響していると思いますか。　（回答は 1 つ）

1 かなり影響している（14.9%）
2 やや影響している（34.7%）
3 あまり影響していない（34.2%）
4 影響していない（16.2%）

Q60　あなたは、現在の仕事や生活に満足していますか。A.仕事全般と B．生活全般それぞれについてお答えください。（回答は 1 つずつ）

(1)A．仕事全般

1 かなり満足（5.0%）
2 やや満足（31.9%）
3 どちらともいえない（38.2%）
4 やや不満（15.7%）
5 かなり不満（9.2%）

(2)B．生活全般

1 かなり満足（5.8%）
2 やや満足（32.7%）
3 どちらともいえない（36.6%）
4 やや不満（17.1%）
5 かなり不満（7.8%）

Q61　あなたは、仕事や生活に対して、どのような将来見通しを持っていますか。A.仕事全般と B．生活全般それぞれについてお答えください。（回答は 1 つずつ）

(1)A．仕事全般

1 希望が持てる（2.7%）
2 やや希望が持てる（17.1%）
3 どちらともいえない（46.0%）
4 あまり希望は持てない（23.6%）
5 希望は持てない（10.6%）

(2)B．生活全般

1 希望が持てる（4.5%）
2 やや希望が持てる（20.9%）
3 どちらともいえない（48.3%）
4 あまり希望は持てない（18.4%）
5 希望は持てない（7.9%）